

御殿場

ロータリー

クラブ

週報

国際
ロータリー
第2620地区

NO.12



“CELEBRATE ROTARY” “ロータリーを祝おう”

第1861回
例会プログラム
2004.9.16

例 会 場 / 東山荘・講堂

開 会 点 鐘 / 12:30

ロータリーソング / それでこそロータリー

内 容 / 第2回 クラブ協議会

会 員 慶 事

誕 生 日

9月17日 内海 隆治君

結 婚 記 念 日

9月28日 林 準君・美千代様 ご夫妻

9月29日 石田 恩君・真 澄様 ご夫妻

夫 人 誕 生 日

9月16日 神谷 高義君 ご夫人 和 子様

9月17日 斎藤 衛君 ご夫人 真夕美様

9月21日 鈴木 栄一君 ご夫人 静 子様

9月25日 土屋 義明君 ご夫人 英 子様

9月26日 嶋田 泉太郎君 ご夫人 正 江様

9月28日 高柳 雄輔君 ご夫人 ふさえ様

連 続 出 席

9月14日 勝又敏雄君(15年間)

当たり前の事を、当たり前

会長挨拶 稲葉 博之



御殿場ロータリークラブ独自の教員海外派遣助成事業も今年で13年間継続して実施しています。

今夜は4月に御殿場市立西中学校の勝又将雄校長、小山町立足柄小学校の山本一郎校長、ご推薦のお二方の帰国報告となっております。今年の6月10日御殿場市役所にて御殿場市立西中学校の伊藤賢一教諭と小山町立足柄小学校の野田晃代教諭の

助成金の贈呈を行いました。

伊藤先生はイギリス・アイルランド「3都市3大学」ロンドン大学・エジンバラ大学に8月11日から21日までの11日間英語教育の研修、そして、野田先生はイギリス・ロンドン大学で7月26日から8月20日までの26日間英語の研修を終了してお帰りにになりました。今後、今回の貴重な研修体験を生かして、効果的に生徒への好影響をもたらすことを大いに期待します。

話は変わりますが、先月8月27日御殿場ロータリークラブ代表として第3回御殿場市交通安全対策委員会総会に出席しました。県下では8月10日から22日までの13日間に21件の死亡事故が発生し、24名もの尊い命が失われました。また御殿場市においても7月に1件、8月に入って2件、3名の死亡事故が発生し、極めて異常な事態となっていることから、県内全域に本年度初めての「交通死亡事故多発警報」が発令され、交通死亡事故防止対策を強化されました。死亡事故の特徴は、ぼんやり運転やスピードの出し過ぎによる事故、高齢者の道路横断中の事故などが挙げられています。もう、これ以上、痛ましい犠牲者を出さないために、それぞれの立場で安全運転の原点に立ち返り、今一度、家庭・地域・職域などで交通事故防止のご協力をお願い致します。

次回9月30日の例会

1862回 12:30点鐘 東山荘

来週9月23日の例会は休会となります。

海外研修に参加して

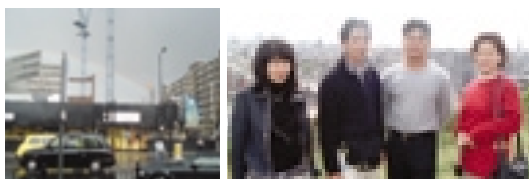
御殿場市立西中学校 伊藤 賢一

私にとって、本当にあっという間の10日間でした。10日間で三つの都市を巡ることは、とても忙しい研修でしたが、それぞれの歴史や文化を学んだことで、それぞれの国の「人」を知ることができたと思います。

特にスコットランドの人達は、昔からイングランドと争ってきた歴史があり、自分たちの地域(国)に対する愛国心や誇りの強さに驚きました。

お店やレストランで、現地の人達は私たち日本人に対して、自然な速さの英語で話しかけてきました。思わず聞き返したことが何回もありました。ゆっくり話してくださいと、お願いしたこともありました。世界中のほとんどの人達が、英語を普通に使うことができるという前提で、彼らは話しかけてきたのだと思います。私たち日本人が思っている以上に、英語は万国共通語であるという現実を痛感しました。

たいへん貴重な体験をさせていただき、心から感謝申し上げます。



ロンドン大学社会研修講座に参加して

小山町立足柄小学校 野田 晃代

私は7月26日～8月20日までの26日間、ロンドン大学の社会研修講座に参加させて頂きました。

元々、海外旅行が大好きで、様々な国々を旅してきましたが、今回、約1ヶ月間、しかも英語学習もできるということで、出発前から本当に楽しみにしていました。慌てて通い始めた英会話教室。片言の英語しか話せず、不安もありましたが、それ以上に初めて訪れるイギリスの国への期待に胸を膨らませて出発しました。

UCL(ロンドン大学)英語演習は「Survival English」と題し、イギリスでの生活に必要な知識や英語表現について学びました。私のクラスのサリー先生は、困ったことを相談すると、「Don't worry」と笑顔で受け止めてくれる本当に素敵な先生でした。サリー先生の教師としての姿から学ぶところがたくさんありました。3週間、ロンドンで生活し、自分の足で様々な場所を訪問していたおかげで、最終日のま

とめの授業では、「Mind the Gap」「Stand on the right」は?と質問されても、「Tube」と即答できるようになりました。地下鉄は本当によく利用したので、どの施設はどの駅で降りるのかまで分かるようになりました。いまだにTube Mapが頭の中に浮かんできます。

授業の後は、ロンドンの有名なスポットを訪問しました。ロンドン塔、ビッグ・ベン、ウェストミンスター寺院、バッキンガム宮殿(衛兵交代式も見ました)、また、大英博物館やナショナルギャラリーなど様々なジャンルのミュージアムも見学しました。大学寮の近くにあるリージェントパークでの散歩、ミュージカル「ライオン・キング」も感動的でした。

これらを通じ、英国の歴史の深さを感じることができました。今まで遠く感じていたイギリスの国が、とても身近に感じるようになりました。これからさらに興味を持ってそうです。

休日には、研修で出会った仲間と共に、ユーロスターに乗ってベルギーを旅してきました。私は行きの電車でブリュッセルの1つ前の駅(そこはフランスのリールでした...)で降りてしまうという体験をしてしまいましたが、フランス語しか聞こえてこない駅で必死に英語でどうしたらよいかと尋ねました。振り返ってみると、それもよい経験だったと思います。

ベルギーでは、ナミュール、ブルージュという日本人にはあまり知られていない田舎町を訪れました。街並みはたいへん美しく、温かい感じのする国で大変印象に残りました。鍋いっぱいのもうめ貝はとても美味しかったです。

その他、世界遺産であるストーン・ヘンジも訪問しました。広大な草原にぽつんと残されている巨大な石。それはとても神秘的でした。

この研修で、私はイギリス国の歴史に触れ、その偉大さに深く感動しました。また、反対に異文化に触れることで、日本の素晴らしさにも気づくことができました。そして、何よりも素敵な仲間との出会いがあったことは、私にとって大きな収穫でした。私達はこの仲間を「London Family」と名付けました。私の人生の宝物です。

26日間は本当に充実した夢のような日々でした。この研修の機会を与えて下さった皆様に改めて深く感謝したいと思います。ありがとうございました。私が見たこと、感じたことを子供たちにたくさん話してあげたいと思います。今後も、ポジティブに学ぶ姿勢を忘れない自分でいたいと思います。



9月9日の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	59名	50名	84.75%	100.00%

欠席者(9名)

神谷高義君・勝間田太住君・斎藤礼志君・斎藤 衛君・高柳雄輔君
戸栗太平君・臼井良太君・内海隆治君・渡邊俊彦君

やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

8月26日のメーキャップ

10名

秋田悦夫君	9月 1日	長 泉	水口正宏君	8月27日	裾 野
井口修一君	9月 1日	三 島	根上真一君	9月 4日	地 区
神谷高義君	9月 3日	裾 野	根上陽一君	8月26日	三島西
勝又敏雄君	9月 6日	沼津東	小野篤之君	8月26日	三島西
狩野住夫君	8月24日	箱 根	田代博久君	8月27日	裾 野

9月9日の
スマイル

皆さん、何かありませんか?
(親睦委員会の独り言)

御殿場
ロータリー
クラブ

第2620地区



例会日/木曜日
例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長/稲葉 博之
幹 事/高村 繁男
会報委員長/橋本 喜市

地区ロータリー財団セミナーに参加して

2004 8 21(土)

ホテルアソシア静岡ターミナル

参加者：第2分区ガバナー補佐 小野 篤之
御殿場ロータリークラブ会長 稲葉 博之
同 財団委員長 山崎 恭夫

第2620地区渡辺ガバナーからロータリー財団プログラムおよび事業活動への理解を深め、年次寄付・恒久基金寄付の地区目標達成のための努力を願いたい旨の要請が、まず行われた。

ロータリー財団の変遷を辿ると、1917年の国際大会において「全世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で、より良いことをするために基金をつくろう。」と提案されたことから始まり、それが「ロータリー財団」と名付けられて、今日まで営々と活動しています。

2000年2月、ロータリー財団管理委員会において、「ロータリー財団」の目的・使命・活動は、「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通して、ロータリー綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と明確に決定されました。

ロータリー財団プログラムの柱は、 教育的プログラム 人道的補助金プログラム ポリオ・プラスプログラムの3つであり、

教育的プログラムについて

- ・ 国際親善奨学金.....男女を他国の教育機関で勉学させることにより、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与する。
毎年800～1300名位の奨学生の参加を通して、受入れ国の人々に対する優れた親善使節として行動している。
- ・ 研究グループ交換(GSE)...最も人気があり非常に意義あるプログラムで、25～40才までのチームメンバー4人とロータリアンのチームリーダーを交換し合い、互いの国の文化・事業・実業について学習する。
本年度は米国フロリダより訪れるチームを御殿場RCが受け入れることに決定しています。国際奉仕委員会が担当します。大変ですがよろしくお願ひします。
- ・ その他上記2プログラムに参加した者が学友会を構成して、その皆さんが世界中で活躍中。

人道的プログラムについて(国際ロータリーの財団の財政上の問題から大きく変化しています)

- ・ 地区補助金.....地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団が補助金を出して支援するプログラム。
- ・ マッチング・グラント.....ロータリークラブが他国のロータリークラブを援助する世界社会福祉のプロジェクトに補助金を申請して、ロータリー財団のプログラムとマッチング・グラントになる。2ヶ国以上にあるロータリークラブが協力し合い、補い合うことにより効果的な奉仕が可能となる。

ポリオ・プラスプログラム...既に20億人以上の子供たちがワクチン接種を受け、500万人が死と麻痺から救われている。ロータリー財団がこのプログラムを開始して以来、ポリオ発生国の数は99%以上減少した。

2005年までにポリオ撲滅宣言が出来るまでもう一歩。

2620地区はのために51万3000ドルの募金目標を掲げています。

当クラブでは、節食例会を設け、そこから浄財を作出し、これを拠出することでクラブ全体で協力している。

ロータリー財団が地域社会や、国際社会への奉仕プログラムを更に強化し、増大していくためには奉仕活動の充実と資金面の持続的な援助が大変重要であり、両者は正に車の両輪の関係にあります。従ってロータリー財団のプログラムを継続させるためにはロータリアンをはじめ、心あるあらゆる人々の寄付、その他の方法で財団を支援してくれる基金こそが唯一の財源であり、原動力となります。

第2620地区においては毎年1人120ドルを目標に努力するよう、また恒久基金寄付の地区目標の達成のために努力されるよう要請を受けています。

加えてポール・ハリスフェロー(PHF)への積極的な参加もよろしくお願い致します。



ロータリー財団委員会

委員長 中野 哲男(浜松RC)

実施事項	具体的内容	実施予定時期	会 場	備考(予定経費)
総括的事項	年次寄付、恒久基金寄付の目標達成推進 ポリオ・プラスへの理解と事業活動への協力 ロータリー財団委員会の開催 小委員会との連絡を密にして円滑な事業の推進 会計支出の統括運営			予定経費 100,000円
財団プログラムの理解と活動の推進	ロータリー財団の情報、資料の収集と提供 ロータリー財団プログラムについての理解を深める機会の提供 ロータリー財団月間への取り組み推進 ロータリー財団プログラムの事業活動のPR			
ロータリー財団セミナー	各クラブの会長とロータリー財団委員長に出席いただき ロータリー財団プログラムおよび事業活動への理解を深め、年次寄付、恒久基金寄付の地区目標達成のための努力をお願いする。	2004年 8月21日	ホテル アソシア 静岡 ターミナル	
ロータリー財団の集い	国際親善奨学生ガイダンスおよび山静学友会総会、GSE報告などを兼ねて開催する。地区ロータリー財団関係委員会の合同開催行事。	2005年 6月 日 6月 日		
奨学金小委員会との連携および活動支援	河野和年小委員会委員長の計画書の通り ロータリー財団国際親善奨学金事業活動の支援			予定経費 580,000円
補助金小委員会との連携および活動支援	曾根真人小委員会委員長の計画書の通り 地区補助金およびマッチング・グラント事業への理解と活動の支援			
研究グループ交換小委員会との連携および活動支援	阿部裕之小委員会委員長の計画書の通り 第6960地区(アメリカ・フロリダ)よりのGSE受け入れ協力			予定経費 2,400,000円
財団学友小委員会との連携および活動支援	金子昌生小委員会委員長の計画書の通り 財団学友小委員会の活動協力と山静学友会の活動および事業への支援			予定経費 1,120,000円
				4,200,000円